

# 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第12回緩和ケア部会 趣旨説明

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会 事務局  
国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部



# 緩和ケア部会設立の経緯

## がん対策推進基本計画（第2期）

- がんと診断された時からの緩和ケアの推進

## がん診療連携拠点病院整備指針

- 緩和ケアチームの整備
- 外来での緩和ケア
- 都道府県拠点病院における緩和ケアセンターの整備

対がん10か年総合戦略 Comprehensive 10-year Strategy for Cancer Control

がん克服新10か年戦略 New 10-Year Strategy for Overcoming Cancer

第3次対がん10か年総合戦略 3rd-Term Comprehensive 10-year Strategy for Cancer Control

がん対策基本法  
Cancer Control Act

がん対策基本法改正  
Amended Cancer Control Act

がん対策推進基本計画（第1期）  
Basic Plan to Promote Cancer Control Programs(Phase 1)

がん対策推進基本計画（第3期）  
Basic Plan to Promote Cancer Control Programs (Phase 3)

がん対策推進基本計画（第2期）  
Basic Plan to Promote Cancer Control Programs(Phase 2)

がん登録推進法  
Cancer Registration Promotion Act

がん対策推進基本計画  
（第4期）

1984

1994

2004

2006

2007

2012

2013

2016

2018

2021

2023

がん登録  
部会

情報提供  
相談支援部会

緩和ケア部会

国協議会  
設置

## 国協議会 事務局報告（2024年7月11日）

# 概要

- 国立がん研究センターは、我が国のがん対策の中核的機関として、定期的に都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（以下「国協議会」という。）を開催し、情報収集、共有、評価、広報を行うこととされている（※1）。
- 国協議会および部会が形骸化し、情報提供だけの場となってしまっている現状を鑑み、以下を検討した。
  - ① 国協議会・部会のあり方
  - ② 国協議会と部会、各部会の連携強化

（※1）「がん診療連携拠点病院等の整備に関するについて」令和4年8月1日健発0801第16号厚生労働省健康局長通知

## 国協議会の課題と検討内容

### 1. 国協議会・部会が形骸化している問題

- がん診療連携拠点病院（拠点病院）制度創設時は、参加する側も拠点病院がどういうものかわからず、国協議会や部会への期待も大きかったが、創設から15年以上が経過した現状において、参加者が国協議会や部会に求めるニーズも変化している可能性が考えられる。

### 対応案

- 国協議会および部会委員へのアンケート調査、ヒアリングを実施し、今後のあり方を再検討するのはどうか。

## 国協議会の課題と検討内容

# 2. 国協議会と部会、部会間の連携が取れていない問題

### 各部会事務局へのヒアリングで指摘されたこと

#### 緩和ケア部会

- 学会の結びつきで情報交換できている人にとっては部会の必要性が感じられないのではないか。
- 一方で、自施設の緩和ケアチームを維持することで精一杯で取り残されている都道府県もある。

#### 情報提供・相談支援部会

- 新しく整備指針が変わるたびに新たな課題が出てくるため場当たりの対応になってしまっている。
- 実務者で課題を挙げても、施設長など責任ある立場のある人に届かない。

#### がん登録部会

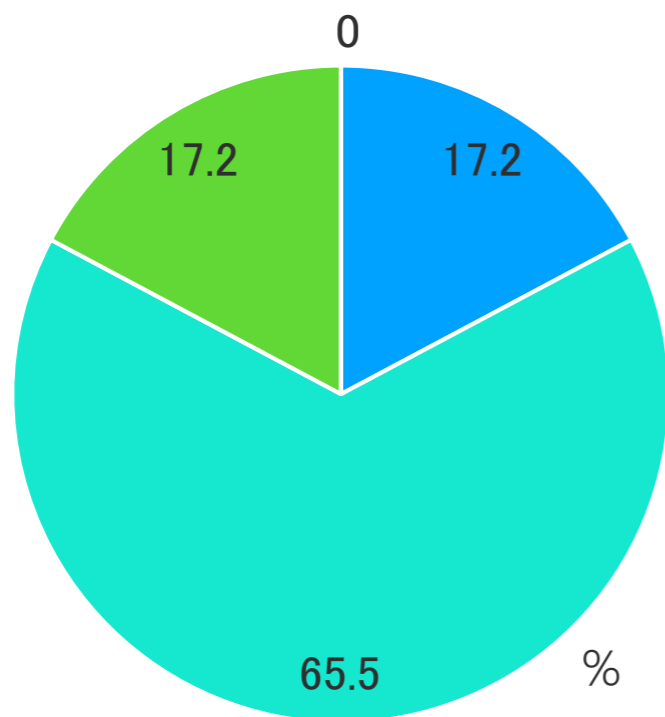
- 法のもとに行われている事業であり、部会だけで解決できない課題もある。
- 施設管理者の理解がある方が実務者が動きやすくなるという声もあがっており、国協議会との連携は望ましい。

# 国協議会事後アンケート（緩和ケア部会委員対象）

2024年7月11日～7月31日 オンラインにて実施

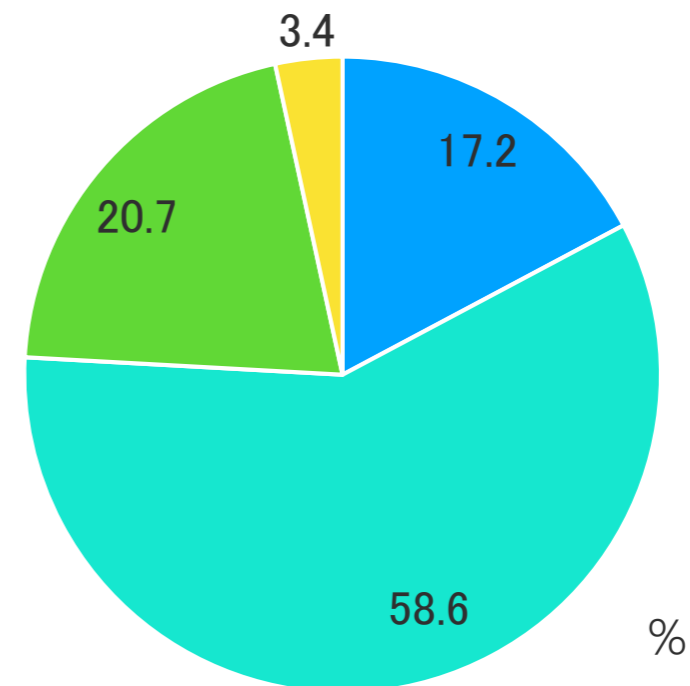
回答数：33名（32.4%）

1. 緩和ケア部会で取り扱ってきたテーマは、学会など緩和ケア部会以外の場で十分に議論されていると思いますか？



- 十分議論されている
- 議論されているが不十分である
- 全く議論されていない
- その他

2. 緩和ケア部会に参加することで、自都道府県や自施設での緩和ケアの質向上に貢献できていると感じますか？



- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 全く感じない



## 国協議会事後アンケート（緩和ケア部会委員対象）

2024年7月11日～7月31日 オンラインにて実施

### 3. 緩和ケア部会はどのような場であることを期待しますか？

※重要3項目まで

期 待	回答数	
がん対策推進基本計画や整備指針に関する厚生労働省からの説明を受けること	14	受動的
整備指針等で新たに明記された分野の専門家からの情報提供を受けること	14	
全国の拠点病院の取組や先駆的活動を共有すること	14	
緩和ケアに係る事項に関し、国に対し整備指針や基本計画の改訂に向けた提言を行うこと	14	主体的
拠点病院間で役割分担すべき治療法の実施体制について協議すること	8	
緩和ケアに係る基本計画や整備指針等の国の施策を評価すること	7	
拠点病院の緩和ケアに係る実績や活動状況を評価すること	6	

## 国協議会事後アンケート（緩和ケア部会委員対象）

2024年7月11日～7月31日 オンラインにて実施

### 4. 都道府県における緩和ケアにかかわる課題は何ですか？ ※複数回答可

課 題	回答数
緩和ケアを行う人材が不足している	30
緩和ケアにかかわる予算が不足している	13
地域の医療機関や介護福祉関係者等、地域との連携が図れていない	12
都道府県内における他のがん拠点病院との連携が図れない	9
都道府県行政との連携が図れない	9
都道府県内で協議すべき課題がない、または分からない	1

### 5. 緩和ケア部会で取り上げたい、または取り上げるべきテーマは？ ※重要3項目まで

テーマ	回答数
緩和ケアに関する地域連携について	19
専門的緩和ケアの提供体制について	16
緩和ケアセンターの体制整備について	13
緩和ケアに関する研修体制について	10
ACPを含めた意思決定支援について	8
基本的緩和ケアの提供体制について	7

その他

- 緩和ケアチームの体制について
- 量的には評価できない「緩和ケアの質の評価」について
- 緩和ケアに関する人材育成について
- 現場での問題点等の共有



## 緩和ケア部会委員へのヒアリング 2024年8月～7月 オンラインにて実施

### 緩和ケア部会を活性化するにはどうすれば良いと思いますか？

- 情報提供はありがたい。国としての方向性や、都道府県拠点病院に求める役割について情報共有してほしい。
- 都道府県拠点病院といっても、大学病院とがん専門病院、県立病院等様々な立ち位置がある。それぞれの苦労がある中で、どういう工夫、サポートができるか部会内で共有したい。
- 都道府県内で緩和ケアを推進していくためには、行政の協力が不可欠である。現状では、都道府県行政との関わりが希薄であり、コミュニケーションがとりづらい状況にある。緩和ケア部会に行政担当者にも出席してもらってはどうか。
- 「緩和ケア」に求められる要件が多すぎる。人員が限られる中で「緩和ケア」のすべてを緩和ケア部会の構成員が担うことは難しい。緩和ケア部会として、自分たちが担うべきことは何かを発信していく必要があるのではないか。
- 「基本的な緩和ケア」と「専門的な緩和ケア」について、部会内で整理し、基本的な緩和ケアについては、がん医療に関わる医療者全体で取り組むよう国協議会や国へ提言していくと良いのではないか。

## 第12回緩和ケア部会 趣旨

緩和ケア部会創設から12年が経過し、設立当初に比べ日本社会全体やがん医療が大きく変化している。

特に高齢化やそれに伴う人材不足が深刻化している中で、がん診療連携拠点病院の「緩和ケア」に求められる要件は年々増してきている。

全国の「緩和ケア」の実情を踏まえ、緩和ケア部会の今後のあり方について、委員間で意見交換をしたい。